

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2015-222520(P2015-222520A)

【公開日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-077

【出願番号】特願2014-106919(P2014-106919)

【国際特許分類】

G 0 6 F 11/18 (2006.01)

G 0 6 F 11/14 (2006.01)

G 0 5 B 9/02 (2006.01)

G 0 5 B 9/03 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 11/18 3 1 0 C

G 0 6 F 11/14 3 1 0 L

G 0 5 B 9/02 J

G 0 5 B 9/03

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月19日(2016.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同時に同一の演算を行い、かつ相互に出力データを監視する機能を有する複数の演算部と、

前記演算部毎の出力データを一時記憶し、前記複数の演算部のいずれかからの指示により前記一時記憶した演算部毎の出力データを外部に出力する機能を有する出力制御部と、
前記演算部毎に設ける複数の電源と

を備え、

前記複数の電源のいずれかは、対応する前記演算部に加えて前記出力制御部にも電力を供給する

ことを特徴とするフェールセーフ演算装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のフェールセーフ演算装置であって、

前記複数の電源の中で少なくとも一つの電源を他の電源と異なる電源容量にする
ことを特徴とするフェールセーフ演算装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載のフェールセーフ演算装置であって、

前記複数の演算部のいずれかは、相互に監視する前記出力データが一致する場合に前記出力制御部に対して前記指示を出す

ことを特徴とするフェールセーフ演算装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項 に記載のフェールセーフ演算装置であって、

前記複数の演算部それぞれは、他の前記複数の演算部に対してリセット信号を送信する機能を有する

ことを特徴とするフェールセーフ演算装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のフェールセーフ演算装置であって、

前記複数の演算部それぞれは、相互に監視する前記出力データが不一致の場合に前記リセット信号を送信する

ことを特徴とするフェールセーフ演算装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載のフェールセーフ演算装置であって、

前記複数の演算部それぞれは、前記リセット信号を受信すると自らの演算を停止することを特徴とするフェールセーフ演算装置。